

第44回 NPO 研究会の報告



日 時：2007年7月3日（火）

場 所：ウイズもとまち 4F 大会議室

テーマ：県内 NPO の現状・課題と中間支援組織のあり方

話題提供：福島大学共生システム理工学類教授

星野 珉二

昨年の秋から冬にかけて、当センターでは自主事業として、県内のNPO法人にアンケート調査を行い、NPOの活動実態を把握するとともに、活動上の課題を明らかにしました。また、併せて、中間支援組織に対するニーズやNPOファンドへの期待度などについても調査しました。この調査では凡そ、県内NPO法人の三分の一から回答を得ています。

研究会で報告した主な調査結果は以下のようです。人材面においては、有給スタッフの確保はどうかできているものの、給与水準は低い水準に留まり、ボランティア・スタッフの確保は不十分といえます。資金面においては、会費収入の目標達成度は一定の水準にありますが、委託費や寄付金は達成度が低く、全体として資金調達は難しい状況にあります。情報・広報面については、活動に必要な情報収集は比較的できていますが、自分たちの活動の広報はあまりできていないという結果になっています。中間支援組織については、組織の認知度は半数に留まり、約8割が組織を利用しないと回答しています。NPOファンドについては、「利用したい」と「利用しない」とで2極化しており、事業の規模が大きくなるほど「利用したい」の比率が高くなっています。

中間支援組織の認知度の低さと利用率の悪さは私どもにとって気になるところですが、中間支援組織への期待する項目についても尋ねています。期待の大きい項目として、NPOと行政・NPOと企業との協働に関わる支援、ネットワーキング支援、資金調達支援、市民へのNPO活動に関する働きかけなどが挙がっています。中間支援組織はこの辺の内容を肝に銘じて活動していく必要がありそうです。

（文責 星野 珉二）